

おおがき 宝モノ新聞



と き 令和3年 7/17(土)～8/29(日) 開館時間 9:00～17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室
大垣市郷土館 1階 郷土美術室

「おおがき宝モノがたり」展開催！

—詳しい内容をお伝えします—

昭和天皇もご覧になった!? 草木図説

飯沼慾齋が著した「草木図説」は、日本で初めての近代科学的植物図鑑として名高い。精密な植物画は、昭和天皇をも惹きつけた。昭和三十三年四月、全国植樹祭のため、昭和天皇が岐阜県を訪問されることとなった。おりしも、研究者らにより、それまで所在不明であった「草木図説」が県内の個人宅より発見された。そこで、植物学に造詣が深い天皇にご覧い



飯沼慾齋著「草木図説」草之部稿本（個人蔵、記念館蔵）

ただく計画が立てられたのである。



曙庵筆「水蕉」の句文箱書（個人蔵、記念館蔵）

芭蕉真筆を手に入れた！
曙庵の歓喜やいかに！

芭蕉・木因の真筆を納める箱に残る墨書。そこには、大垣の俳人曙庵が芭蕉の真筆を手に入れた喜びようが、次のように記されている。「予は木因叟が真蹟女郎花の名文なる一軸を所持したれば、これに合せて什物とし、平常に至誠を尽さば、両翁の靈意にも叶ふらむと想像するに就ても、時機の到来を雀躍し侍る」「雀躍」とは、「小躍りするほど喜ぶ」という意味である。

紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ

梁川紅蘭が生前、愛用していた七弦琴。紅蘭没後、行方不明となっていた琴は、星巖を敬愛する個人の手によって、ついに大垣へたどり着いた。長年、この琴を探し求めていた男性は、何度か京都に通い、滋賀県彦根市の美術商が所蔵しているとの情報を掴み、昭和五十二年、



清水家旧蔵長篠合戦図屏風(左隻)(大垣市蔵)

蔵の中から、屏風が見つかった。

花嫁を迎えた長篠合戦図屏風

中山道赤坂宿の清水家住宅から見つかった合戦図屏風。それは、およそ七十年前、清水家での婚礼日、花嫁の控えの間に飾られていたという。清水家は、江戸時代中山道赤坂宿で米屋を営んでいた。明治以降、医者に転じて診療を行っていた。平成二十四年、清水家住宅が大垣市に寄贈され、改修工事を行っていた際、土

苦節30年！認められた別府細工の芸術性

別府細工は、十八世紀半ばから十九世紀初頭にかけて、美濃国本巣郡別府村（現・岐阜県瑞穂市別府）で、広瀬清八・茂重郎の親子二代にわたり制作された銅型鋳物である。彫金作家の中島實氏は、それまで詳細不明で、作品も散逸していた別府細工について、三十年かけて研究、収集してきた。その成果が、昭和五十年に実を結び、県指定となった。



別府細工・中島コレクション（郷土館蔵）

歓迎!! 大名様ご一行

本陣とは、江戸時代、大名や公家など限られた身分の人々だけが利用できる、道中の休憩・宿泊施設である。

その本陣に利用者がいることを宿場中に広く知らせるための札が、「関札」である。本陣の表門前や宿場の出入口に、長さ三間（約

五、五メートル）ほどの竹の先に取り付けて掲げられていた。



星侯宿本陣関札（大垣市蔵）

琴を買い取り自宅に持ち帰った。平成十三年、男性から琴を引き継いだ娘と大垣市との話し合いが成立し、市に寄贈された。



梁川紅蘭の七弦琴（記念館蔵）

関連事業

お部屋でギャラリートーク

日時 7月29日(木)・8月22日(日)

いずれも 14:00～15:00

場所 奥の細道むすびの地記念館

2階 多目的室1

定員 各20名(先着順)

申込 要事前申込み 7月1日(木)～

大垣市奥の細道むすびの地記念館

〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

大垣市郷土館

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目4 TEL 0584-75-1231

主催/大垣市・大垣市教育委員会

問い合わせ先/文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL 0584-47-8067 (直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

奥の細道むすびの地記念館

館内施設	芭蕉館/先賢館	観光・交流館
料金	一般300円 団体150円 (18歳未満は無料)	無料
開館時間	午前9時～午後5時	午前9時～午後5時
休館日	無休(ただし、12月29日～1月3日は休館)	
郷土館		
料金	一般200円 団体(20人以上)100円	
開館時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)	
休館日	火曜日(その日が祝日にあたる場合は、その翌日) 祝日の翌日(その日が月曜または火曜にあたる場合は、その翌日) その翌日(その日が月曜または土曜にあたる場合は、その翌日) 年末年始(12月29日から1月3日)	



— 法務省 人権啓発キャッチコピー —
「誰か」のこと じゃない。
(「誰か」2020 公開 人権啓発キャッチコピーコンテスト) 岐阜県内版

皆さんの「たからもの」は何ですか。

私たちが住む大垣には、先人が守り伝えてきた大切な「たからもの」がたくさんあります。

地域の「たからもの」は、郷土の自然や歴史文化を知る手がかりとなります。

また、私たちの生活文化の土台となりさまざまな示唆を与えてくれるものです。

これらは専門用語で「文化財」と呼ばれ「我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ

今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産」と定義されています。

今回の収蔵資料展では、先人の思いが詰まった大垣の「たからもの」と、それにまつわる

色とりどりの「ものがたり」を紹介します。

この機会に、身近な「たからもの」に親しんでみませんか。

【奥の細道むすびの地記念館展示品】

- ・芭蕉筆「ひょうひょうと」句画賛・木因筆「黄なものの」句文懐紙・曙庵筆「水茎の」句文箱書【市指定重要文化財】
(個人蔵、記念館預託)
- ・飯沼慾斎著「草木図説」草之部稿本附写生本【県重要文化財】
(個人蔵、記念館預託)
- ・梁川紅蘭の七弦琴【県重要文化財】(記念館蔵)
- ・江馬細香宛頼山陽書簡(記念館蔵)
- ・小原鉄心書簡聚(記念館蔵) ほか

【郷土館展示品】

- ・江馬細香画「水墨竹之図六態」屏風【市指定重要文化財】
(個人蔵、郷土館預託)
- ・別府細工・中島コレクション【県重要文化財】(郷土館蔵)
- ・墨俣宿本陣関札【市指定重要文化財】(大垣市蔵)
- ・清水家旧蔵長篠合戦図屏風(大垣市蔵)
- ・久世友輔木像(郷土館蔵) ほか

お部屋でギャラリートーク

日 時	7月29日(木)・8月22日(日) いずれも14:00～15:00
内 容	担当学芸員が展示資料をプロジェクターで映しながら解説
場 所	奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
定 員	各20名(先着順)
申し込み方法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは奥の細道むすびの地記念館ホームページ(http://www.baho-ogaki.jp)より 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL0584-47-8067(直通) FAX0584-81-0715

お部屋でギャラリートーク参加申込用紙

FAX 0584-81-0715

(令和3年7月1日(木)から受付開始)

ふりがな 名 前	-----		
住 所			
電 話		FAX	
日 時		参加希望日に○をつけてください。	
7月29日(木) 14:00～15:00			
8月22日(日) 14:00～15:00			

※両日とも同じ内容です。

【注意事項】

申込書の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。
申込受付の確認については連絡しません。当日、会場にお越しください。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や変更となる場合があります。